



少年形優勝を奪還、会員大会準優勝

第 7 回東海少年形競技会 / 第 14 回柔整師杯東海少年柔道選手権大会 / 第 36 回東海ブロック柔道大会

7 月 23 日 (日) 午前 10 時 30 分から午後 4 時 15 分まで愛知県武道館にて東海ブロックの 3 つの柔道大会が開催された。

開会式挨拶にて森川伸治大会会長は、「身につけた技を發揮し、悔いを残さず、けがのないように全力を尽くしてください。また、本日は熱中症嚴重警戒情報が発令されているので水分をしっかりと摂って熱中症に注意し頑張ってください」と述べた。

10 時 50 分からの東海少年柔道選手権大会では、東海 4 県の小学 4 年生から 6 年生の男女合わせて 96 名が、学年別・男女別のトーナメント戦に臨んだ。佐野 恵監督 (半田) 率いる愛知県代表メンバーは、24 名で参戦した。白熱した試合が繰り広げられた結果、本県は 6 部門中 4 年女子、5 年男子、5 年女子の 3 部門で優勝・準優勝を独占した。

- 4 年男子 **第 3 位** 黒野琢磨 (東海)
- 女子 **優勝** 土川恵璃 (大石)
- 準優勝** 大掛紗奈 (山北)
- 5 年男子 **優勝** 名郷颯馬 (稲沢)
- 準優勝** 奥 大空 (岩倉市柔道)
- 女子 **優勝** 大多和 心 (大石)
- 5 年女子 **準優勝** 市東瑠蘭 (六郷)
- 6 年女子 **第 3 位** 宮原杏奈 (東海)



12 時 30 分からの形競技会は、三重・静岡・愛知・岐阜の順に第 2 試合場にて 1 組ごとに行われた。昨年準優勝に甘んじた森 正仁監督 (半田) 率いる牧園羽菜 [取]・石原梗雅 [受] チームは、雪辱を果たし高得点で優勝した。森監督は、「優勝できてうれしい。日整大会に向けもう一度基本に立ち戻り練習を積み重ねたい」と抱負を語った。熱中症気



優勝した半田チームの演武

味の様子にも拘らず牧園選手は、「優勝を目指して頑張りたい」としっかりと口調で述べた。

優勝 愛知 準優勝 三重 第 3 位 静岡 第 4 位 岐阜

午後 2 時からは東海ブロック会柔道大会が行われた。森川大会会長は、28 年ぶりの業界の制度改正や柔道整

復養成校改革が公益社団法人の会員にとってプラスに働くことを説いたうえに、「日頃の練習の成果を県の代表としてしっかりと出し切り、けがのないよう頑張ってください」と選手にエールを送った。

前回準優勝の愛知県チームは、監督: 春日井和幸、大将: 竹上勝 (六段)、副将: 石黒貴彦 (四段)、中堅: 榎本雄一郎 (三段)、次鋒: 浅井友哉 (参段)、先鋒: 岡崎高章 (参段) で臨み、他 3 県と団体リーグ戦で戦った。

1 戦目は 3-1 で静岡に勝利、2 戦目は 1-3 で岐阜に敗北、3 戦目は 1-1 で三重に引き分けた。結果、岐阜県との僅かな内容差で準優勝を手にした。優勝した静岡に勝利しているだけに惜まれる結果となった。大将の竹上選手は、「準優勝で寂しい。来年は優勝目指して頑張ります」と殊勝な面持ちで試合を振り返った。



優勝 静岡 準優勝 愛知 第 3 位 岐阜 第 4 位 三重

平成 29 年度愛知県・春日井市総合防災訓練に参加

8 月 20 日 (日)、春日井市朝宮公園にて愛知県・春日井市総合防災訓練が開催され、藤川副会長、小林事業部長、河合事業部員、ほか支部会員 3 名が参加した。



春日井市民はじめ、大村愛知県知事や伊藤 太市長、県議・市議及び各防災関係機関や地域自主防災組織の総勢 3,000 名が参加し、～育てよう自助・繋げよう共助～をテーマに、さまざまな防災に関する訓練が行われた。



午前 7 時前にはわれわれの活動の場である朝宮公園内特設テントに集合し荷物を搬入。8 時 40 分、大村知事・伊藤市長の一行がわれわれのテントの視察に訪れた。しかし、準備は整っていたものの住民がまだ到着していない時間帯だったので、我々が被災者役となり家庭内にあるものの応急処置を披露し、実際に知事の首にレジ袋で代用した三角巾をかけ藤川副会長が説明を行なった。

9 時 30 分と 10 時 10 分ごろには一班約 20 名の被災者役地域住民の二班、計約 40 名に対して、レジ袋をはじめペットボトルとサララップでの患部固定、シーツを使った担架搬送など、身近にあるものを利用した応急・救護活動の指導を行なった。11 時 10 分頃から大村知事・伊藤市長からの講評を受け、その後順次解散となった。

今回、市民の防災訓練・意識の高さに驚かされ、今後も積極的に防災啓発に努めていきたいと感じた。(報告 大曾根支部 河邊俊博)

参加者 藤川和秀・小林弘治*・河合一弘・福永由隆・押谷昌之・河邊俊博



防災訓練準備会 (8/16)

午後 1 時 30 分から 2 時 30 分まで、会館第 2 会議室にて開催。新たに協定を結んだ大府市を含め 7 ヶ所で行なわれる防災訓練に関する説明と機材準備が行なわれ、森川会長・両副会長ら合わせて 20 名が出席した。

マスターズハンドボール大会救護ケア

第 25 回全日本マスターズハンドボール大会が 8 月 11 日 (金) から 13 日 (日) まで、豊田市総合体育館 (スカイホール豊田)・豊田市運動公園体育館などで開催され、12 日と 13 日の両日、事業部と岡崎支部会員などのべ 29 名が選手の救護・ケアにあたった。



お盆の時期にもかかわらず、石川益郎支部長の努力により支部会員 11 名が協力してくれた。また米田柔整専門学校から 19 名の学生さんも見学実習として参加した。

12 日は午前 7 時 30 分にスカイホール正面玄関前駐車場に会員 17 名と学生さん 10 名が集合。小林事業部長と学生引率の先生の挨拶のあと、スカイホールと運動公園に分かれてベッドや衛生材料などの資材を搬入し活動を開始。8 時 20 分ごろから選手が処置室を訪れ、午後 5 時までテーピングやけがの処置にあたった。13 日は会員 12 名と学生さん 10 名が午前 8 時に集合し正午過ぎまで活動した。

アキレス腱断裂の疑いに対してシーネ固定などの応急処置後救急車を呼んだり、肩鎖関節脱臼の応急処置を行ったりした例を含め、119 ヶ所の症例に遭遇。学生さんたちにも貴重な体験となった。

この事業に参加するようになって 10 数年が経つ。大会規模が拡大して分散開催となったが、来年以降も依頼があれば会員の協力をぜひお願いしたい。(報告 小林弘治事業部長)

Welcome!! 新入会員

氏名	藤井崇綱	神谷竜徳
生年月日	S58.1.28	S63.11.15
支部	岡崎	半田
出身校	名古屋医専	中和医療
段位	-	初段
趣味	野球	音楽鑑賞



藤井崇綱会員



神谷竜徳会員